

平成29年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	附属特別支援学校における研究の成果を全国へ発信する取組
事業実施代表者名	校長 紀藤 典夫
実施附属学校名	北海道教育大学附属特別支援学校
事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述)	<p>本年度、本校では「学習評価」に視点を当てた研究を行ってきた。具体的には、学習評価を多面的、分析的、計画的に行うことを研究の内容として取り組んできた。</p> <p>まず、分析的な評価に向け、【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点で授業の評価を試みた。また、分析的な評価を行うために、評価規準と評価基準を合わせたルーブリック評価を用い、授業の評価を行った。そして計画的に評価を行うために一単元の授業の評価の時期を設定し、授業内の子どもの成長を評価し、目標等の修正にあたった。</p> <p>また、授業内で効果的な子どもの成長を促すための支援方法を示した「支援スケール」を試作し、授業計画・評価において活用した。ティーム・ティーチングで行う授業が多い特別支援学校の授業において、支援の方法の共通理解をもつこと、次の段階の支援方法を探ることは、多くの学校で課題となる。単独の教員の思いだけで授業が展開されたり、子どもへのかかわりを行ったりすることは、指導を引き継ぐ際の阻害要因となる。今後、特別支援学校の授業において、最適な支援を実現するためのツールとして有効なものを作成するため、評価の研究と合わせて試行を行った。</p> <p>12月に行った公開研究協議会では、各学部の授業の中で、生活を豊かにするための学びが実現しているか、という視点での評価をどのように行っていくか、というテーマの中「知的障害教育における主体的・対話的で、深い学びの支援と学習評価」という演題での花熊暁氏の講演を行い、新学習指導要領で目指そうとしている観点を踏まえながら、授業における評価についての講演が行われた。</p> <p>これらの研究成果は、名古屋市で行われた日本特殊教育学会において「生活を豊かにしていく力を育む授業づくり」と題し、自主シンポジウムにおいて発表を行った。また、札幌市で行われた北海道特別支援教育学会では、ポスター発表にて、研究成果と今後の課題について発表を行った。</p> <p>さらには、全国で同様の研究を推進する岩手大学附属特別支援学校や愛媛大学附属特別支援学校の公開研に参加し、その場で研究内容について交流を行い、研究の成果に関心をもつていただくための交流を行った。</p>

<p>成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)</p>	<p>本年度の研究では、実践事例を通して生活を豊かにしていく力を育む授業づくりのために、有効な支援と学習評価の在り方について明確にすることができた。多面的、分析的、計画的な学習評価を行うことにより、一人一人の児童・生徒の学習プロセスに着目しながら、その変容をとらえることができるようになった。また、観点別学習状況評価と一体化させた支援スケールは、教師にとって明確な支援方針をもって支援にあたることができたり、教師間での共通理解が図られたりするようになった。教師にとって自分尾受容を客観的に振り返ることができる手掛かりにもなったと考える。</p> <p>今後、授業において最適とされる支援をティーム・ティーチングで共通理解をもちながら行っていくことと、単元内で評価時期を決めて授業改善していくことは、子どもたちの生活を豊かにする力を育むと考え、次年度の研究においても継続していくことが課題となる。なお、本年度の研究で試作し試行してきた支援スケールの有効性についても検証していく必要があると考える。</p> <p>今後は、さらに子どもたちにとって学ぶ理由が明確になるための方法を探り、自分の意思で活動する力を育んでいきたい。</p>
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>本校の任務や本学の中期目標・中期計画の実現へ向け、大学との連携をさらに強め、引き続き本校の研究の様々な取り組みを全国、全道、地域へ発信していくことは必要なことと考える。本年度は昨年に引き続き、ふじのめ学級の研究部と協力し、それぞれの研究内容をポスターにまとめ、各公開研究会にて発表の場を設けた。今後は、新学習指導要領の内容を受け、お互いの教育課程の改訂に関して交流し合い、その内容を各地域へ発信することも検討したい。そのためにも学会等への参加や発表、ふじのめ学級との研究交流等を推進し、継続させて、本校教職員の資質や能力の向上に結び付け、それを地域に還元することで、地域の教育力の向上に寄与していきたい。また、授業公開をさらに地域に公開することも検討し、研究内容への関心を広げ、さらに研究を発展的なものにしていきたい。道内及び全国の特別支援学校への広報活動にも力を入れ、他校において本校の研究成果が活用されるための取組につなげていきたい。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>本校ホームページにて、公開研究協議会の概要を掲載中。</p> <p>函館新聞(12/8)及び北海道通信(12/22)に公開研究協議会の様子が掲載。</p> <p>その他、本校ホームページ上に、研究活動において研究の外部発表への取り組みと、入試情報にける出願状況、活動の様子等において随時更新掲載。</p>